

氏名	遠 部 英 昭		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博 乙 第 2198 号		
学位授与の日付	平成2年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	脳底部異常血管網症（モヤモヤ病）の本邦人症例の研究 —小児 TIA 例を中心として—		
論文審査委員	教授 大月三郎	教授 大田原俊輔	教授 徳永 勲

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

脳底部異常血管網症の若年例における T I A の病態を明らかにするために、小児 T I A 例の臨床所見、脳血管撮影所見を検討し、また  $^{81m}\text{Kr}$  持続頸動脈内注入法を用い過呼吸負荷時の脳循環の変化を連続的に観察した。教室で経験した小児 27 例中 19 例に T I A を認め、そのうち 13 例で泣いたり、笛を吹いたりするなどの過呼吸様の動作の後に T I A をきたしていた。また T I A 例において T I A の症状対応側と非対応側の血管撮影所見を比較すると、症状対応側では中大脳動脈領域の順行性の造影がより不良であった。 $^{81m}\text{Kr}$  持続頸動脈内注入法による観察では、ほとんどの例で過呼吸負荷に対する遷延性の脳循環の減少が認められ、T I A が誘発された例もみられた。以上の結果より本症の若年例における T I A は潜在的な中大脳動脈流域の低灌流状態に、過呼吸様の動作による遷延性の脳血流の低下が加わって引き起こされるものと考えられた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は脳底部異常血管網症（モヤモヤ病）の若年例における一過性脳虚血発作の病態を、臨床所見、脳血管撮影像、過呼吸負荷時の  $^{81m}\text{Kr}$  注入法による脳循環観察により研究したものであり、本病態における過呼吸による脳血流の低下の重要性を明らかにしたのもとして、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。